

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1. 建物概要

建物名称	ひらせいホームセンター寺尾台店	
建設地	新潟県新潟市西区寺尾台2丁目803番2外	
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域	
建物用途	物販店	
竣工年	2018年2月 竣工	
敷地面積	7,591.84 m ²	
建築面積	2,958.30 m ²	
延床面積	2,956.80 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	竣工段階評価	
評価の実施日	2018年2月14日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.9}{34.7} = 1.3$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.5
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.5		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	LR2.1.1 3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿命化の取組み
設備配管はメンテナンス・修繕等を考慮し天井配管計画とした。
- 自然エネルギーの取組み
道路境界沿いには植栽を施す計画とした。
- 新潟のまちなみへの取組み
植栽・駐輪施設・エントランス前のオープンスペース等を設け、地域性への配慮及び快適性の向上に努めました。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ひらせいホームセンター寺尾台店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市西区寺尾台2丁目803番2外	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2018年2月 竣工	評価の実施日	2018年2月14日
敷地面積	7,592 m ²	作成者	高桑 渉
建築面積	2,958 m ²	確認日	2018年2月14日
延床面積	2,957 m ²	確認者	高桑 渉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 清潔感のある店舗を目指し、耐久性・防汚性の配慮を施した内装計画とした。 建物正面(南側)に外売場を配置することにより、建物内部への直接的な日射熱流入を抑制し省エネルギーに配慮した建築計画とした。		その他 建築物エネルギー消費性能確保計画よりBPI値を0.8以下に抑え、建築物の熱負荷抑制に配慮した。
Q1 室内環境 利用環境の向上性を求め室内内装材についてはシックハウス対策に配慮した。	Q2 サービス性能 将来的な空間の形状・自由さを考慮し壁長さ比率を0.1以下に抑えた。また、売場の天井高は3.5mとし空間にゆとりを持った計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 空地率は60%以上確保し、敷地面積に対し建築物が窮屈に配慮した。道路境界沿いについては極力緑地を配置するよう計画した。
LR1 エネルギー 高効率照明器具、高効率空調機の採用をした。 照度計画、空調計画によりエネルギーを削減した建築計画を目指した。	LR2 資源・マテリアル 躯体と内装仕上げ材は容易に分別可能とし将来的な設備機器更新に配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地周辺は住宅街の為、屋外照明については光害の低減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される